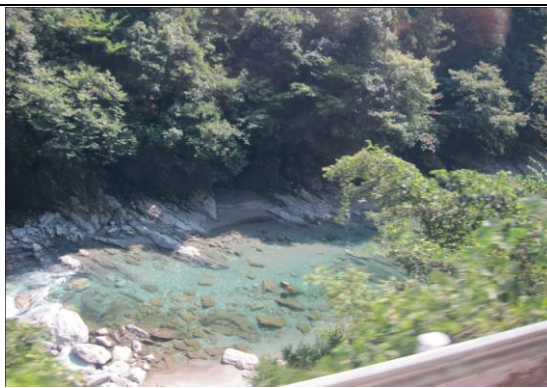


2024年度 山スクール実技⑤

四国・剣山一泊登山 1日目 (2024年9月7日(土))

7時半に梅田集合のところ、全員が早く揃ったという事で7時15分にはバスで出発！淡路SAでトイレ休憩を取った後、高速道路を降りてすぐの道の駅・貞光ゆうゆう館に10時45分着。ここで早めの昼食です。ゆうゆう館の中で半田そうめんも良いですし、近くのうどん屋のさぬきうどんも美味しいですよ。



11時30分にはゆうゆう館を出発。ここから見/越駐車場まで約1時間半の山道。これがなかなかのグネグネ道で最初は賑やかだったバスの中も後半はかなり静かになっていったような・・・私も少し気分が悪くなりました。車酔いの可能性がある方は、事前に酔い止め薬など、対策を取った方が良かったと思います。

12時50分に見/越駐車場にバス到着。ここでバスとはお別れですので、荷物の分別をしてトイレを済ませ、山歩きの身支度を整えました。
気温24度、標高1410mの地点から、目指すのは、剣山山頂1955m近くにある山小屋です。標高差540m程、歩行時間は2.5時間の予定ですので、そんなに長くはないかな。頑張ろう！



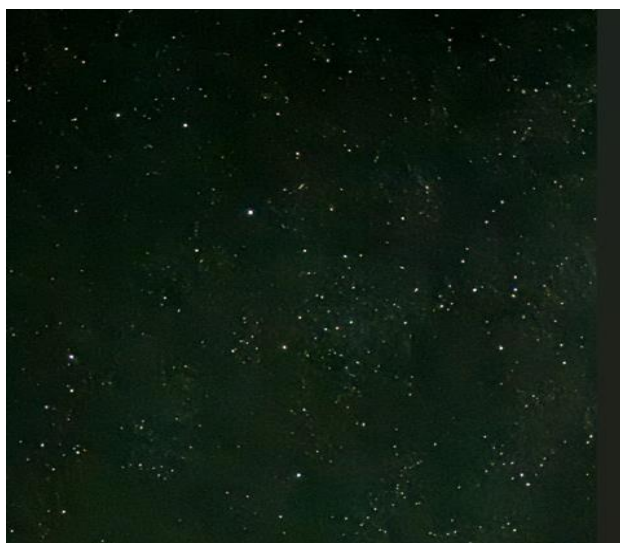
山歩き前のストレッチを皆で行い、13時20分に剣神社から出発です。
リフトの側を抜け、広葉樹の多い山道を進んで行くと1時間ほどで、リフトの終着点である西島駅(1750m)に着きました。そこにあっただのが左の写真の公衆便所です。なかなかのレトロ感で利用する勇氣はでませんでした。体験した方の感想は是非お聞きしてみたいです。

西島駅を14時45分に出発。山小屋への荷物運びに利用している（していた？）道端のキャタピラーを見ながら珍しいキャタピラー道を登って行きました。刀掛けの松を通り過ぎ、30分程歩いたら剣山山頂ヒュッテに到着です。山頂までは直ぐなので、まずは山頂に行き、そこで明日に備えてザレ場の歩き方を指導して頂きました。



足の上にお尻を持っていくように意識したり、片足で立てるか試してみたり、足元も見つつ時々頭を上げて姿勢を真っすぐに保つようにしたり、ザレ場を歩く時の注意点に気をつけながら、皆でしばらくザレ場歩行を練習した後、16時半にヒュッテで荷物を降ろしました。ここでは旅館のような小部屋が幾つもあり、5人部屋の和室に入りました。

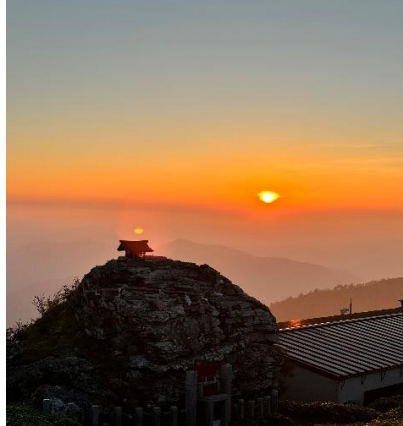
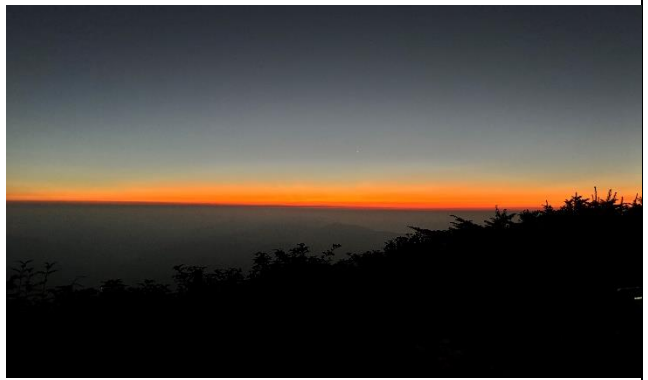
このヒュッテは電気もあり、水もポンプでくみ上げているため、なんとお風呂があるんです。と言っても湯船に浸かれる訳ではないのですが、湯船に貯めたお湯を1人5杯までなら使っていいんです！汗まみれの私達にとっては山頂でお湯が使えるなんて天国のような話です。そんな天国で汗を流し、豪華な食事を美味しく頂き、大満足です。



本当は山頂からの夕焼けや星空がとても綺麗と評判なのですが、この日はガスが多くて夕焼けは見られませんでした。でも星空だけでも何とか見られないかと思って夕食後、空を見上げているとなんとガスが過ぎ去り、満点の星空が・・・ヒュッテから山頂まではお散歩程度の距離ですし、山頂は木道になっているので、皆で山頂まで出かけて星空観察会になりました。ベンチに寝転がって見た満点の星空は写真には納められない美しさでした。

四国・剣山一泊登山 2日目 (2024年9月8日(日))

午前4時半頃起床し、5時過ぎからご来光を見るために、山頂の東側デッキに移動。2日目は天候に恵まれ、美しい日の出を見ることができました。5時過ぎから山の端がオレンジ色に染まり始め、5時40分頃に太陽が姿を現しました。



6時から朝食を取った後、7時前には、山頂ヒュッテ前に集合し、剣山山頂に移動した上で、行動前のストレッチを行いました。



7時12分 次郎笈に向けて出発しました。四国一美しい稜線を堪能しながら進みます。はじめのうちは、急な下りとなっており、前日に講師の方から受けた指導を実践しながら進んでいきます。足はフラットフィッティングを心掛け、一度足を置いたらぶれないようにすることで滑るのを防ぎます。急な下りの後は、なだらかな下りが続き、下りきった後は登り返します。



スタートから1時間かからずに次郎笈の山頂に到着しました。山頂ヒュッテから早朝の出発だったため、他には1組しか登山者がいませんでした。30分ほどかけて、山頂からの景色を楽しみ、記念撮影を行いました。次郎笈から望む剣山も奇麗でした。次郎笈の三角点を確認したところ、4等三角点でした。



次郎笈から下山を始め、次郎笈峠を通過し、大剣神社の方向へ分岐しました。その後、御神水の分岐の標識がありましたが、見つらなかったため、そのまま通過しましたが、直後に列の後ろの方が気づき、引き返して、御神水を汲みました。御神水は、湧き水で、柄杓で汲み取る方式になっていました。剣山御神水は、「秘境としてすばらしい名水部門」5位に選ばれています。



9時45分頃、大剣神社に到着しました。「天地一切の悪縁を絶ち、現世最高の良縁を結ぶ」という有難い言葉が書かれており、順番にお参りをしました。



10時10分過ぎに西島駅で短時間の休憩を取っていたところ、他の登山客の方が、足を踏み外して軽い滑落をする場面に遭遇しました。幸いにも怪我がなかったようで、滑落した方は、自力で登って来られました。講師の方から、険しくない普通の登山道でも植生の下に地面がないところを踏み抜いて滑落した事例があったという話を聞いた直後のことであったため、改めて、絶えず注意して歩行することの重要性を痛感しました。



10時57分、登山口に戻りました。
11時が下山の目安とされており、ほぼ設定された目安時間での下山となりました。
出発時と同じく、劔神社辺りで下山後のストレッチをして登山を終了しました。
この後、蕎麦などの軽食を頂き、入浴して帰路に着きました。
1日目の夜から2日にかけては天候に恵まれ、怪我や事故のない充実した山行となりました。



感想と振り返り

1日目は曇りのため、夕日を見ることができなかったことが残念でしたが、夜空一面の星やご来光を見ることができ、山頂直下の山小屋に宿泊する醍醐味を十分に味わうことができました。また、小さいものではありましたが、滑落の現場に遭遇することになり、改めて、登山中に気を抜くことが危険につながるということを学びました。

参考

- ① 登山中に、ある生徒から、「遭難して通報するときには、座標を伝えた方がよいでしょうか。また、座標はどのようにして確認したらよいでしょうか」という質問がありました。座標の確認方法については、登山時計で登山モードになっている場合には、通常、座標が表示されていますし、YAMAPやヤマレコ等の登山アプリの行動中も画面内に表示されています。また、Google mapのラベルのないところを長押しすれば、座標が表示されます。
- ② 今年の7月30日から、iPhone14以降の機種では、電波のないところでも、衛星中継サービスを経由して、緊急連絡先や警察・消防等にテキストメッセージを送れるようになりました。詳細は、YouTubeの「ヤマレコ社長の絶対遭難させないチャンネル」等で確認してください。事前登録すべきことなどが解説されています。